◆◆◆◆◆◆◆◆◆　総　評　◆◆◆◆◆◆◆◆◆

髙橋　睦子　先生　（吉備国際大学　社会福祉学科　教授）

女性が学校教育を経て社会へ踏み出そうとする時、彼女の前には大なり小なり、女性の役割についての先入観や社会制度の不備といった壁がたちはだかるかもしれません。それでもあきらめずに困難や課題に立ち向かってきた人たちも少なくないのです。このことを確認する事前学習(資料読解、小論文など)は、フォーラム本番への助走として不可欠でした。

ユースフォーラムは、プレゼンテーションに始まり、グループ討論そしてグループ発表へと、ふりかえってみれば瞬く間の、しかし、実に密度の濃い時間でした。フォーラムの二日間、見知らぬ者同士から「仲間」へという人間関係の素敵な化学反応による飛躍的な成長、つまり、潜在力が引き出されていくプロセスに立ち会えてとても光栄に思っています。

２日目午前中のグループ発表と白熱した質疑応答は女子力の昇華の証しでした。純粋な感動にまばゆく輝いたユースフォーラムに心から惜しみない拍手を送ります。

国内外のジェンダー問題を語り合うことで、同じ時代を生きる女性が世界各地で逆境におかれていることへと視野が拡がります。そして、仲間と力を合わせることは、より多くの人たちが幸せでいられる平和な世界を目指そうとするグローバルな活動の基本です。弱い立場・苦しい状況にいる人たちの存在を忘れずに、どうすれば支え合えるかを考え続けましょう。

ユースフォーラムの参加者の皆さんがこれからも豊かな感性を磨き、それぞれの道でいつも希望を持ち続けて活躍されることを祈念致します。